

参 考 資 料

地区研究会の活動紹介

Introduction to the activities of the Regional Associations for Laboratory Animal Science

わが国には現在 11 の地区研究会があり、独自の活動が展開されています。本報では、各地区研究会の間での情報交換、交流などを意図して、平成 30 年度の活動について北から順に紹介します。なお、会長、事務局担当者及び講演者、話題提供者の方々のお名前は敬称を省略させていただきました。詳細な内容をご希望の方は各地区研究会の事務局にお問い合わせ下さい。

Summary

There are eleven Regional Associations for Laboratory Animal Science in Japan, and each of them conducts independent activities. The present paper introduces the activities of the Regional Associations in 2017 to promote information exchange and interaction among them, starting from those of the northernmost association. In the paper, honorifics for the staff of the office, lecturers, and people who provided us with information on topics have been omitted. For the details, please contact the office of each Regional Association.

北海道実験動物研究会

Hokkaido Association for Laboratory Animal Sciences (HALAS)

会長：安居院高志(北海道大学大学院獣医学研究科実験動物学教室)

ホームページ：ただいま準備中です。

事務局：〒060-0809 札幌市北 10 西 8

北海道大学大学院理学研究院生物科

学部部門行動神経生物学分野

北田一博

E-mail: kkitada@sci.hokudai.ac.jp

TEL: 011-706-3582 FAX: 011-726-3476

第 15 回研究会総会・学術集会 2018

平成 30 年 6 月 30 日(土)、北海道大学学術交流会館小講堂 大会長：有川二郎(北海道大学大学院医学研究院)

[一般講演] ④～⑦：若手奨励賞対象演題)

①腎症候性出血熱のマウスモデルにおける病態発現に CD8 陽性 T 細胞が関与する

○清水健太、吉松組子、津田祥美、有川二郎
北海道大学・大学院医学研究院・病原微生物学教室

②マウスモデルを用いたエボラウイルスの病原性の解析 ○津田祥美¹、海老原秀樹²

¹ 北海道大学医学研究院病原微生物学教室

² Department of Molecular Medicine, Mayo Clinic, Rochester, MN, USA

③インフルエンザマウスモデルを用いた新規ワクチンアジュバントの開発

^{1,2} 藤倉大輔, ³ 村松大輔, ² 豊間根耕地, ^{1,2} 千葉聖子, ² 大東卓史, ³ 岩井 淳, ⁴ 幸脇貴久,

⁴ 岡本将明, ² 東 秀明, ² 喜田宏, ^{2,4} 押海裕之

¹ 旭川医科大学教育研究推進センター

² 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター ³ 株式会社アウレオサイエンス

⁴ 熊本大学大学院生命科学研究部免疫学分野

④Profiling of cellular immune responses to *Mycoplasma pulmonis* infection in C57BL/6 and DBA/2 mice

Tussapon Boonyarattanasoonthorn, Hassan T. Tag-EL-Din-Hassan, Masami Morimatsu, Takashi Agui

⑤Crispr/Cas9 システムによるミュータントの表現型解析を通じた減数分裂期特異的に発現する *spdyf* 遺伝子の機能解析
○岸田 諒、眞壁大地、北田一博(北大・生命科学院)

⑥ラット生殖工学技術の効率化と支援業務化
¹ 日野千紘、² 藤倉大輔、^{2,3} 船越 洋 ¹ 旭川医科大学教育研究推進センター動物実験技術支援部門 ² 旭川医科大学教育研究推進センター ³ 旭川医科大学先端医科学講座

⑦サブコンジェニックマウスを用いたセンダイウイルス感染感受性/抵抗性遺伝子座の解析
○佐藤佳祐、Abbas, M.F. Raghda、Boonyarattanasoonthorn, Tussapon、Tag-EL-Din-Hassan, T. Hassan、森松正美、安居院高志 北大・獣・実験動物

⑧*Ads* マウスにおける白斑原因遺伝子のポジショナルクローニング ○和田健太^{1,2}・高橋 剛¹・張 了了²・松島芳文³

¹ 東京農業大学大学院生物産業学研究科・

² 東京農業大学生物産業学部・³ 埼玉県立がん

センター臨床腫瘍研究所

【平成 29 年度若手奨励賞】

受賞者 岸田 諒 受賞演題 (上記)

第 7 回実験動物科学シンポジウム

「人畜共通感染研究—ワンヘルスの取り組みと動物実験の役割—」

平成 30 年 6 月 30 日(土)、北海道大学学術
交流会館小講堂 主催:(公社)日本実験動
物学会/北海道実験動物研究会

「講演:第一部」ワンヘルスの理念と人獣共
通感染症制圧への取り組み

「ワンヘルスの概要」山田章雄(東京大学)

「フィリピンでの狂犬病撲滅への取り組み」

西園 晃(大分大学医学部)

「ザンビアでの活動」鈴木定彦(北海道大学
人獣共通感染症リサーチセンター)

「講演:第二部」人獣共通感染症研究と動物
実験

「炭疽菌研究と動物実験」東 秀明(北海道大
学人獣共通感染症リサーチセンター)

「SFTS 研究と動物実験」下島昌幸(国立感染
症研究所ウイルス第 1 部)

「ダニ媒介性脳炎ウイルス研究と動物実験」

好井健太朗(北海道大学獣医学研究院)

「エキノコックス研究と動物実験」安居院高
志(北海道大学獣医学研究院)

「意見交換会」

東北動物実験研究会

Tohoku Research Association for Animal
Experiments

会長:三好一郎(東北大学大学院医学研究科)

ホームページ:

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~>

doubutu/tohoku/tohoku.html

事務局:〒980-8575 仙台市青葉区星稜町 2-1

東北大学大学院医学系研究科附属

動物実験施設内 小関陽子

E-mail:voko-k@med.tohoku.ac.jp

TEL:022-717-8175、FAX:022-717-8180

第 29 回研究会

平成 30 年 7 月 20 日(金)、福島県立医科大学
8 号館(旧看護部棟)3 階 N301

主催:東北動物実験研究会、共催:日本実験動
物技術者協会奥羽・東北支部

【講演 I】「神経回路の遺伝子操作による動物
モデル研究」小林和人(福島県立医科大学医
学部附属生体情報伝達研究所生体機能研究
部門)

【講演 II】“日本実験動物技術者協会 第 402
回本部共催講演会”

「ヘルパー CD4(+)T 細胞サブセットの病理
学」一宮慎吾(札幌医科大学医学部附属フロ
ンティア医学研究所免疫制御医学部門)

【講演 III】「PDX モデルの作製とそのカタログ
化」片平清昭(福島県立医科大 医療-産業ト
ランスレーショナルリサーチセンター)

【講演 IV】「マウスバンクと生殖工学技術」
中潟直己(熊本大学生命資源研究・支援セン
ター動物資源開発研究施設(CARD)・資源開発
分野)

第 4 回実験動物技術者研究交流会

日本実験動物技術者協会奥羽・東北支部主
催 平成 30 年 7 月 21 日(土)、福島県立医科
大学 8 号館(旧看護部棟)3 階 N301

筑波実験動物研究会

Tsukuba Association for Laboratory Animal
Science

会長:杉山文博(筑波大学医学医療系)

ホームページ:<https://www.talas.jp>

事務局:〒315-0138 茨城県石岡市上林 955

日本チャールス・リバー(株)

モニタリングセンター内 上田 尚

E-mail:office@talas.jp

TEL:0299-44-1691、FAX:0299-44-1692

第 26 研究会総会・第 55 講演会

平成 30 年 6 月 15 日(金)、文部科学省 研究
交流センター 2 階 国際会議場

【シンポジウム】『疾患モデル<アレルギー>』

山梨大学総合分析センター資源開発分野

神沼 修「細胞の核移植によるアレルギー疾
患モデルマウス」

東京大学大学院農学生命科学研究科 食の安
全研究センター 足立はるよ「卵白特異的 T
細胞受容体遺伝子のトランスジェニックマ
ウスを用いた食物アレルギーモデルマウス」

ポスター及び企業展示

特別講演:遺伝子改変(第 6 弾)

理化学研究所バイオリソース研究センター
実験動物開発室 綾部信哉「3R に貢献する
便利な遺伝子改変マウスデータベースの使
い方」

教育講演:動物倫理・福祉シリーズ

筑波大学実験動物学研究室 八神健一

「実験動物飼養保管基準解説書の概要と活用」

自治医科大学実験医学センター 國田 智

「30 分でわかる! 実験動物飼養保管等基準

解説:共通基準と個別基準の要点」

第 56 回講演会

平成 30 年 11 月 30 日(金)、文部科学省 研究
交流センター 2 階 国際会議場

【講演内容】

《動物実験への人工知能 (AI) 活用の可能性》
 (株) クレスコ技術研究所 綾塚祐二 「眼科画像に対する人工知能の活用」
 シスメックス(株) 中央研究所 高畑隆之 「人工知能による病理画像認識」
 北海道大学大学院情報科学研究科情報理工学専攻自律系工学研究室 山本雅人 「人工知能の現状と動物管理への応用」
 企業展示
 《動物福祉・受講証明書対象講演》
 マーシャル・バイオリソーシス・ジャパン(株) 安倍宏明 「Public engagement の意義とその取り組み」

北陸実験動物研究会

Hokuriku Laboratory Animal Research Association
 会長: 山本 博 (富山大学生命科学先端研究センター動物実験施設)
 ホームページ:
<http://kiea.w3.kanazawa-u.ac.jp/lara>
 事務局: 〒920-8640 金沢市宝町 13-1
 金沢大学学際科学実験センター
 実験動物研究施設内 橋本憲佳
 E-mail: lara-info@kiea.m.kanazawa-u.ac.jp
 TEL: 076-265-2461、FAX: 076-234-4240

第 56 回研究会 (富山)

平成 30 年 1 月 27 日 (土)、富山大学理学部 2 号館・2 階多目的ホール

講演 1 「ニホンザルおよびラットの上丘における視覚情報処理機構の解析」 富山大学医学部システム情動科学講座 西丸広史

講演 2 「鎖発現制御改変マウスによる神経再生とその応用」 愛知大学医学部生物学細胞生物学 武内恒成

講演 3 「マウス音声コミュニケーションの生物学的意義と解析手法について」 鹿児島大学法文学部人文学科神経科学教室 菅野康太

第 22 回総会・第 57 回研究会 (金沢)

平成 30 年 7 月 21 日 (土)、金沢大学アイソトープ総合研究施設・1 階会議室

【特別講演 1】「神経系 EVs (エクソソーム) を介した神経グリア細胞間情報伝達」 金沢大学医学系免疫学 河原裕憲

【特別講演 2】「RNA 編集機構および P13K/AKT 経路の変容に伴う脳機能障害誘導メカニズム」 福井大学ライフサイエンス支援センター生物資源部門 徳永暁憲

第 58 回研究会 (福井)

平成 30 年 11 月 17 日 (土)、福井大学医学部

管理棟 3 階大会議室

講演 1 「軸索の維持に関わる細胞自律的機構」

福井大工学部分子細胞神経科学 小西慶幸

講演 2 「クロマチンリモデリング因子による

ヒト神経前駆細胞の運命決定機構の解析」

慶應義塾大学医学部生理学 神山 淳

講演 3 「シナプス接着因子による小脳神経回路網形成の機構」 信州大学基盤研究支援センター 植村 健

信州実験動物研究会

Shinshu Experimental Animal Research Association

会長: 高木優二 (信州大学農学部)

ホームページ:

<http://shinshuanimal.umin.ne.jp/>

事務局: 〒396-0025 長野県伊那市荒井 3052-1

北山ラベス(株) 事業部 北條佳昭

E-mail: hojo.yoshiaki@nisshin.com

TEL: 0265-78-8115、FAX: 0265-78-8885

第 38 回総会・第 87 回勉強会・第 36 回研究発表会

2018 年 3 月 2 日 (金)、信州大学農学部 30 番講義室

第 87 回勉強会

「感染症を知るー感染防御から実験用マウスのヘリコバクター感染症に関する研究までー」 信州大学基盤研究支援センター動物実験支援部門 山中仁木

第 36 回研究発表会

①「カニクイザルの血液生化学的パラメーターに与える給餌タイミングの影響検討」 キッセイ薬品工業(株)安全性研究所 本川佳幸

②「自動給水ノズルに適した洗浄方法の検討」 信州大学 基盤研究支援センター 小島圭介

③「ラットの臨床検査値における Lot 間差と投与経路の差」 (株) イナリサーチ試験研究センター 登内哲央

④「ウサギ生産場における集団飼育の検討」 北山ラベス(株) 箕輪生産場 狩野 雅

⑤「CRISPR/Cas9 システムを用いた FXR ノックアウトマウスの作出」 信州大学農学部応用生命科学研究室 棚橋由佳

⑥「マウスを用いたマイクロブラッドサンプリング (MBS) 法の検討」 シミックファーマサイエンス(株) 岩波智徳

第 88 回勉強会

モデル動物 (ウサギ) を用いた医学研究

平成 30 年 11 月 16 日 (金)、信州大学松本旭キャンパス旭総合研究棟 9 階 講義室 AB

【講演①】「トランスレーショナルにおける疾

患モデル動物の役割－WHHLMI ウサギ、臨床応用への架け橋－」塩見雅志(神戸大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

【講演②】「動物の幹細胞・初期胚を用いた臓器再生と初期発生研究」小林俊寛(大学共同利用機関法人自然科学研究機構 生理学研究 所 行動・代謝分子解析センター遺伝子改変動物作製室(平林研究室))

○信州実験動物研究会報 No. 65 2018年3月発行

静岡実験動物研究会

Shizuoka Experimental Animals Research Association

会長：石川智久(静岡県立大学薬学部)

ホームページ：

<http://www.shizuoka-eara.com/>

事務局：〒433-8114 静岡県浜松市中区葵東 3-5-1

日本エスエルシー(株)バイオテクニカル センター品質管理部 高木弓枝

E-mail: jimukyoku@shizuoka-eara.com

TEL:053-437-5348、FAX:053-436-4320

平成 30 年度教育セミナー

「微生物モニタリングの基礎と実際」

2018年8月24日(金)、東レ総合研修センター 企画担当：柴主(科研製薬(株))

講演1 マウス・ラットの微生物モニタリング管理レベルに適した微生物管理－丸山 滋(日本チャールス・リバーモニタリングセンター)

器材展示閲覧

講演2 重度免疫不全マウスにみられた

Corynebacterium bovis 感染事例紹介

長沼佑季(アステラスリサーチテクノロジー 動物管理部)

講演3 感染症発生！ その時あなたはどうか

しますか？当社の事例紹介 渡邊利彦(中外製薬、管理獣医師)

器材展示閲覧

特別講演 実験動物マウスにおける感染症

～忘れてよい感染症はない～ 池 郁生(理化学研究所バイオリソース研究センター実験動物開発室)

軽食付きフリーディスカッション

平成 30 年度大会 (第 48 回総会・第 46 回研究発表会)

平成 30 年 10 月 12 日(金)、三島市民文化会館(ゆうゆうホール)小ホール

大会長：奥村 浩(協和発酵キリン(株) 東京リサーチパーク)

会員の研究発表

01. Public Engagement としての Beagle R Program の取り組み 安倍宏明(マーシャル・バイオリソース・ジャパン(株))

02. コモンマーマセットにおける足環を用いた個体識別方法の検討 石井 一(一般社団法人予防衛生協会)他

03. イヌ飼育室における一次囲い及び二次囲いの微生物学的清浄度確認方法 関 敬之(株)ジェー・エー・シー)他

04. 協和発酵キリン(株)における入社時の動物実験教育訓練への取り組み 川合美可(協和発酵キリン(株))他

05. ストリップメニスコメトリチューブを用いたウサギ及びカニクイザルの涙液量測定 大塚絵麻(株)ボゾリサーチセンター 函南研究所)

06. 経皮水分蒸散量を指標としたラットにおける発汗機能の評価 辻本千裕(興和(株) 富士研究所)

07. 自律神経による肝星細胞の肝類洞血流調節機構の解析 土肥直貴(静岡県立大学・薬学部・薬理学分野)

08. ゲノム編集マウス系統の樹立による精巢性テラトーマ形成原因遺伝子の探索 王 軍(静岡大学 理学部 生物科学科)他

09. ハンドドライヤーを用いた手指乾燥効果の調査 佐々木美樹(株)ジェー・エー・シー)他

010. げっ歯類飼育ケージへの床敷充填オートメーション化による労働環境の改善 高橋朋也(株)ボゾリサーチセンター 御殿場研究所)

P1. げっ歯類用環境エンリッチメント Happi-Mats®による行動特性の違い 石川 玄(マーシャル・バイオリソース・ジャパン(株))

P2. 国立遺伝学研究所 マウス研究支援ユニットの取り組みと役割 山谷宣子(国立遺伝学研究所 系統生物研究センター 発生工学研究室 リソース開発支援チーム マウス研究支援ユニット)

P3. 外科的処置後における動物の疼痛管理 ～日本クレアにおける取り組みの一例 胚移植処置後の疼痛管理～ 杉山卓郎(日本クレア(株) 技術部)

<企業展示 8 社>

特別講演「動物実験の未来と動物福祉」 成城 大学法学部 打越綾子

○ニューズレター No. 167 2018年5月31日発行

○静岡実験動物研究会会報 44 巻 1 号 2018

年 6 月発行

東海実験動物研究会

Tokai Association for Laboratory Animal Science

会長：三好一郎（名古屋市立大院医・実験動物研究教育センター）

ホームページ：

http://www.med.nagoya-cu.jp/animal.dir/animalweb/tokai/tokai_index.html

事務局：〒501-1194 岐阜市柳戸 1-1

岐阜大学生命科学総合研究支援センター動物実験分野 二上英樹

E-mail: nikami@gifu-u.ac.jp

TEL: 058-230-6609、FAX: 058-230-6044

2018 年 7 月 14 日（土）

会場：名古屋市立大学桜山（川澄）キャンパス
医学研究科・医学部研究棟 11 階

学術講演

「愛知県で 2018 年に発見された 3 件のエキノコックス陽性犬について」 愛知県衛生研究所 長谷川晶子

企業講演

「2 型糖尿病合併症モデル：SDT および SDT fatty ラットについて」 日本クレア 篠原雅巳

一般講演

1. 実験動物の生存曲線について 田中 慎
2. マウスおよびラットにおける環境要因によるストレスの測定方法について 富田耕平ら（国立長寿医療研究センター実験動物管理室、(株) ケー・エー・シー）
3. エイジングファームマウスにおけるエンドポイントの設定に関する検討 小木曾 昇ら（国立長寿医療研究センター実験動物管理室、(株) ケー・エー・シー）
4. 癌型 K-ras・p53-/-多形型横紋筋肉腫マウスモデルからの癌細胞株の樹立 鈴木 昇ら（三重大学地域イノベーション推進機構・先端科学研究支援センター動物機能ゲノミクス）
5. 癌型 K-Ras 依存的な肺発癌感受性遺伝子座の探索 齋藤浩充ら（三重大学地域イノベーション推進機構・先端科学研究支援センター動物機能ゲノミクス）
6. エクソソーム可視化トランスジェニックラット 吉村 文ら（藤田保健衛生大学研究支援推進センター・疾患モデル教育研究施設）
7. Lis1 発現の制御機構は軸索の伸展と退縮のバランスを調整する 熊本海生航ら（藤田保健衛生大学研究支援推進センタ

ー・疾患モデル教育研究施設）

8. 多発性嚢胞腎症モデル動物 PCK ラットの腎臓における代謝産物の網羅的解析 釘田 雅則ら（藤田保健衛生大学研究支援推進センター・疾患モデル教育研究施設）
 9. 糖尿病誘発マウス血糖値に対する低炭水化物高脂肪（LCHF）食と低脂肪高炭水化物（LFHC）食の影響 山口太美雄ら（鈴鹿医療科学大学医療栄養学科、藤田保健衛生大学疾患モデル教育研究施設）
- 意見交換会（有料 1500 円）

関西実験動物研究会

Hansai Laboratory Animal Research Association

会長：近藤 玄（京都大学ウイルス・再生医科学研究所 統合生体プロセス分野内）

ホームページ：

<http://www.klara.umin.ne.jp/index.html>

事務局：〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 53

京都大学ウイルス・再生医科学研究所 統合生体プロセス分野内
山本恵津子

E-mail: kansaijm@infront.kyoto-u.ac.jp

TEL: 075-751-4860、FAX: 075-751-4862

第 137 回研究会

平成 30 年 3 月 2 日（金）、京都大学楽友会館
テーマ：主要なバイオリソースであるメダカとラットの遺伝学

<講演>

1. 「ラットの遺伝学」 庫本高志（京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設）
2. 「メダカを用いた順遺伝学及び逆遺伝学的解析ーメダカ体色突然変異体の同定を例としてー」 成瀬 清（基礎生物学研究所 IBBP センター）

<トピックス>

「絶滅危惧種の特徴を iPS 細胞と発生工学で解き明かす」 本多 新（京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設）

<維持会員ニュース>

「万能型洗浄機“ATLANTIS”の活用法」
テクニプラスト㈱（渡邊綾野）

第 138 回研究会

平成 30 年 6 月 22 日（金）、奈良春日野国際フォーラム 薨〜I・RA・KA〜別館 2F 会議室 5
テーマ：実験動物学的見地から腸内細菌叢を考える

<講演>

1. 「疾患モデル動物を用いたシンバイオテイクスの試み」 久保 薫 (奈良県立医科大学先端医学研究機構動物実験施設)
2. 「腸内細菌叢研究のツールとしての無菌動物とノトバイオート」 平山和弘 (東京大学大学院農学生命科学研究科獣医公衆衛生学教室)
3. 「腸内細菌叢の網羅的な解析と、その考え方に基づく最近の話題」 森田英利 (岡山大学大学院環境生命科学研究科応用微生物学研究室)

<維持会員ニュース>

「マウス飼育ラックによる省エネの提案」
セオービット(株) (望月一正)、東洋熱工業(株)
(杉田清隆)

第 139 回研究会

平成 30 年 9 月 8 日(土)、大阪大学医学部医学科講義棟 1 階 A 講堂

テーマ: 実験動物を用いたトランスレショナルリサーチ

<講演>

1. ※「免疫不全ウサギの開発」 田島 優 (大阪大学医学部附属動物実験施設)
2. ※「生殖工学技術を応用した生息域外保全への橋渡し研究」 安斎政幸 (近畿大学先端技術総合研究所)
3. 「トランスレショナル研究と分子イメージング」 樋口隆弘 (国立循環器病研究センター 画像診断医学部)
4. 「小型非ヒト霊長類マーモセットモデルと遺伝子改変技術」 佐々木えりか (公益財団法人 実験動物中央研究所)

※日本実験動物技術者協会 関西支部主催

<維持会員ニュース>

「EAD-排気ダクト利用による新しい微生物モニタリング」 日本チャールスリバー(株)

第 140 回研究会

平成 30 年 12 月 7 日(金)、聖護院 御殿荘

<一般講演>

(会員の発表 12 題)

1. PHF24 と Rab タンパク質の相互作用の可能性 芹川忠夫
2. Hcn1 ノックアウトラットにおけるけいれん誘発と脳波測定 西谷あい
3. 側頭葉てんかんモデルマウスにおける代謝変化 太田真菜美
4. シアル酸転移酵素 ST3Gal4 欠損オスマウスにおける生殖行動と代謝変化について 奥野貴哉
5. マウス受精卵の胚性ゲノム活性化時期における H3R2me2s の役割 守田昂太郎

6. 性決定遺伝子発現前のマウス未分化 XY 性腺の精巢化を誘導する器官培養法 長谷川千夏
7. 遺伝子改変肺発癌モデルマウスによる発癌 modifier 候補遺伝子の探索 齋藤浩充
8. 生活習慣病モデル動物におけるリポタンパクリパーゼ/肝性リパーゼ活性の検討 塩見雅志
9. 肥満糖尿病モデル ZFDM ラットにおけるインクレチン作用障害の発症機序 横井伯英
10. 免疫不全ウサギに見られた Pneumocystis 感染 田島 優
11. 細菌ゲノム情報はドラフトシーケンスでは不十分、基準株くらい完全長塩基配列が欲しい 池 郁生
12. In vivo Genome Editing for Vision Jeong Hun Kim

<トピックス>

「排泄物から動物の“こころ”を知りたい: 動物園動物から野生動物まで」 木下こづえ (京都大学野生動物研究センター)

<特別講演 1>

「WHHLMI ウサギー臨床応用への架け橋」
塩見雅志 (神戸大学大学院医学系研究科附属動物実験施設)

<特別講演 2>

「生殖工学技術の改良・開発とマウスバンクシステムの構築」 中潟直巳 (熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設 (CARD)・資源開発分野)

○関西実験動物研究会報 40 号 平成 30 年 12 月発行

岡山実験動物研究会

Okayama Association for Laboratory Animal Science

会長: 樺木勝巳 (岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門鹿田施設)

ホームページ: <https://okayamaexpanim.wixsite.com/oala>

事務局: 〒700-8558 岡山市北区鹿田 2-5-1
岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門鹿田施設
矢田範夫

E-mail: yata-n@md.okayama-u.ac.jp

TEL: 086-235-7446、FAX: 086-235-7433

第 75 回研究会例会

平成 30 年 6 月 29 日(金)、岡山大学理学部 31 講義室(3 階)

世話役: 竹内 栄 (岡山大学理学部)

<一般講演>

1. ヌートリア *Myocastor copus* を用いた試験と実験 2 紺野弘毅ら(岡山理科大学理学研究科、三重大学生物資源学部、岡山理科大学理学部動物学科)
2. 内耳蝸牛管上皮組織における H^+ /myo-inositol transporter および aquaporin 4 の局在解析 小林春也ら(岡山大学大学院教育学研究科・細胞生理学研究室、岡山大学大学院環境生命科学研究科・動物生理学研究室)
3. Mulberry modulates the gut microbial flora and inhibits the DSS-induced ulcerative colitis Yang Wang and Toshimitsu Hatabu (Graduate school of Environmental and Life Sciences, Okayama University)
4. ラットの経時的採血におけるストレッチハンドリングのストレス軽減効果の検討 平山晴子ら(岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)
5. 岡山大学自然生命科学研究支援センターに搬入される家畜ブタの E 型肝炎ウイルス感染状況について 小川寛人ら(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病原ウイルス学分野、岡山大学自然生命科学研究支援センター、山口大学共同獣医学部獣医微生物学教室)
6. ツメガエル属における Adrenomedullin 5 の局在と免疫に関する機能 御興真穂ら(岡山大学理学部生物、岡山大・院・自然科学)
7. GONAD 法を用いた簡便ゲノム編集マウス・ラット作製法 小林朋絵・松山 誠ら(重井医学研究所 分子遺伝部門)

<特別講演>

色素系—生命機能発現機構解明の 1 モデルシステム 山本博章(長浜バイオ大学バイオサイエンス学部)

第 76 回研究会例会

平成 30 年 12 月 14 日(金)、加計学園 50 周年記念館ホール 4 階(岡山理科大学)

世話役: 目加田和之(岡山理科大学理学部)

<特別講演 1>

分泌型免疫グロブリン A の腸内細菌への結合活性は高脂肪食の摂取により弱まる 鶴田剛司ら(岡山大院・環境生命、北大院・農)

<特別講演 2>

ヒト受精卵のタイムラプス観察から知り得た現象 大月純子(岡山大学生殖補助医療技術教育研究センター・大学院環境生命科学研究科(農学)(兼担)・リプロダクションセンター(兼担))

<特別講演 3>

核医学の遺伝子発現イメージング

犬伏正幸(川崎医科大学 放射線核医学)

○岡山実験動物研究会報 第 34 号 2018 年 4 月発行

九州実験動物研究会

Kyushu Experimental Animal Research Association

会長: 小野悦郎(九州大学大学院医学研究院 附属ヒト疾患モデル研究センター)

ホームページ:

<http://www.kyujitsuken.sakura.ne.jp/index.html>

事務局: 〒849-0938 佐賀市鍋島 5-1-1

佐賀大学総合分析実験センター
生物資源開発部門 北嶋修司

E-mail: kitajims@cc.saga-u.ac.jp

TEL: 0952-34-2430, FAX: 0952-34-2024

第 36 回九州実験動物研究会総会

第 38 回日本実験動物技術者協会九州支部
研究発表会合同開催

2018 年 11 月 17 日(土)・18 日(日)

一般社団法人大分県労働福祉会館 7 階アイリス

11 月 17 日(土)

一般演題(実技協九州支部)

1. 福岡大学アニマルセンターにおける実験動物技術講習会の取り組みについて ○古賀 崇男ら(福岡大学アニマルセンター、(株)アニマルケア)
2. 福岡大学アニマルセンターマウス飼育室における消化管内原虫感染とその対策について ○川口雅人ら(福岡大学アニマルセンター、(株)アニマルケア)
3. 福岡大学アニマルセンターのマウス飼育室における臭気対策について ○坂元 愛ら(福岡大学アニマルセンター、(株)アニマルケア、(株)レナテック)
4. 蟻虫卵の保存方法の検討 ○藤谷 光ら(長崎大学先端生命科学研究支援センター比較動物医学分野(動物実験施設))
5. 効率的なラット凍結桑実胚作製 5. 効率的なラット凍結桑実胚 ○川辺敏晃ら(アーク・リソース(株))

賛助会員トピックス

1. 演題: 次世代衛星: 環境管理 ハイボックウオーターシステム HI-CLEAN II 演者: 種田浩次(日本クレア(株))
2. 演題: 器材展示品のご紹介 演者: 須田 実樹男(東洋リントフリー(株))
3. 演題: 器材展示品のご紹介 演者: 中村

浩敏(アークリソース株)

九実研及び実技協九州支部 合同特別講演 1
演題:乳牛の繁殖に関わる最近の知見 演者:
片桐成二(北海道大学大学院獣医学研究院)

11月18日(日)

一般演題(九実研)

1. オーエスキー病ウイルス潜伏感染マウスモデルにおける Crispr-Cas9 を用いた潜伏ウイルス再活性化抑制の試み ○田中聖一(福岡大学アニマルセンター)
2. 稀少固有種アマミトゲネズミの実験動物化に向けた飼育ストレス評価の試み ○緒方穂浪ら(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター、同 大学院医学獣医学総合研究科、同 農学部、アーク・リソース株)
3. テグーに観察されるてんかん様発作の誘発要因に関する検討 ○伊海結貴ら(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター、同 大学院医学獣医学総合研究科、同 農学部畜産草地科学科)
4. CRISPR/Cas9-mediated gene targeting による ES 細胞を用いた遺伝子改変マウスの作製 ○市瀬広武ら(琉球大学医学部附属動物実験施設)

九実研及び実技協九州支部 合同特別講演 2
演題:大分市におけるアライグマ対策～全国発の試み～ 演者:島田健一郎(大分県環境部環境対策課)

11月18日(日)

第8回若手勉強会

企画1:九実研若手会員による研究発表

演題:Zscan10 は/Haptoglobin/の転写を介して破骨細胞分化を負に制御する 演者:柳原裕太(愛媛大学学術支援センター動物実験部門・愛媛大学大学院医学研究科病態生理学講座)

演題:成マウスの休眠発現は幼若期の兄弟関係を反映する 演者:名倉悟郎(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)

企画2:産学(学学)連携を推進するための若手会員によるショートプレゼンテーション

演題:コルチゾル(COR)によるストレス定量 演者:仮屋博敬(アーク・リソース株)

演題:カイコによる有用タンパク質生産 演者:川辺敏晃(アーク・リソース株)

11月17日(土)～11月18日(日)

企業展示ブース

○九州実験動物雑誌 No. 34 2018年10月発行

琉球実験動物研究会

Ryukyu Association for Laboratory Animal Science

会長:上田 智之

(株式会社サザンナイトラボラトリー)

事務局:〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町上原 207

琉球大学医学部附属動物実験施設

市瀬広武

E-mail: h-ichise@med.u-ryukyu.ac.jp

TEL: 098-895-1208 FAX: 098-895-1441

第26回研究会

2018年3月10日 琉球大学 研究者交流施設・50周年記念館

<話題提供1>

1. クワンソウエキスの商品開発での動物実験の役割—睡眠医学の進歩と今後の動向 江口直美(ソムノクエスト株)
2. 排尿障害モデルおよび性機能評価モデルラットを用いた薬効評価 菅谷公男 他(株サザンナイトラボラトリー)

<話題提供2>

3. 「ライフサイエンス研究機能高度化事業」の概要と施設整備 大兼 直(公益財団法人沖縄科学技術振興センター)
4. 沖縄ライフサイエンス研究センターの概要 伊勢孝太郎(バイオ・サイト・キャピタル株)
5. 動物実験委員会の役割 上田智之(琉球大学医学部)

文責:岡山実験動物研究会事務局

岡山大学自然生命科学研究支援センター
動物資源部門

編集担当 佐藤勝紀(津島南施設)

E-mail: ksato@cc.okayama-u.ac.jp